

今月は、6月1日の保育参観のようすをお伝えします。今回は、歯科衛生士さんによる歯科教室があり、お家の方にも一緒に参加していただきました。歯の大切さやじょうずな歯磨きの仕方の話を聞いた後、実際に歯磨きやうがいをしてみました。歯科教室の後は、子どもの歯とおやつとの与え方についての講演がありました。ジュースに入っている砂糖量を水に溶かしての試飲では、あまりの甘さに驚き、できるだけ飲まないようにしようと思われた保護者が多かったです。体に優しく手軽にできる手作りおやつの試食もあり大変好評でした。



- \*子どもの歯が虫歯になるとどうして困る？
  - ・嘔むのが苦手になり偏食やあごが未発達になる
  - ・永久歯への生え替わりがうまくいかない
- \*どうしたら虫歯になりにくい？
  - ・バランスの良い食事を摂り、フッ素を利用する
  - ・甘い物の回数を減らす
  - ・歯垢をとる（仕上げ磨きをする）

虫歯にならないよう  
しっかり歯磨きするよ。  
お母さん、仕上げ磨きをしてね！



**保護者の感想**

○生活リズムの大切さや普段の生活で気をつけたら良い事が分かって参考になりました。  
○子どもたちが、とてもお利口に話が聞けていて感心しました。歯科教室の内容も子ども向け・おとな向けに分けて話していただいて親子共どもためになりました。  
○とても勉強になりました。帰ってきたらついおやつをあげてしまいます。甘い物は、なるべく買置きしないように気をつけたいと思います。

**「ALTの体験録～！」**

VOL.19

ロバートソン ショーン  
(オーストラリア ニューキャッスル出身)



(ショーン 小学生の頃)



**オーストラリアの小学校の1日**

オーストラリアの小学校の生活は日本と様ざまなところで異なります。全ての違いを言ったら大変時間がかかりますので、大きなところを紹介したいと思います。

オーストラリアの学校は午前9時からです。8時半頃から生徒たちが学校に着き、荷物を教室の前の廊下に置いて、9時まで外で遊びます。9時のチャイムが鳴ったら各学年が教室の前で並んで先生が来るまで待ちます。

オーストラリアでは朝の活動や朝の会などがないので出席を確認してから授業が始まります。

日本と違って何時間目、とかに分かれていません。もちろん各学校で違いますが、ほとんどの小学校ではチャイムが6回鳴ります。学校の始まりと終わり、Recess（短い休み）とLunch Break（昼休み）の始まりと終わりです。日本では時間割の間に5分間か10分間の休みがありますが、オーストラリアでは先の2つの休みしかありません。

食堂がなく部屋の中で食べてはいけなないので、昼休みに生徒たちは外で食べます。日本では給食が出ますがオーストラリアでは毎日両親が作ってくれたお弁当を食べます。入っている食べ物は様ざまですが、ほとんどサンドイッチとポテトチップスなどのおやつです。

昼休みの後は全員が教室に戻って、学校が終わる午後3時まで勉強します。授業中は日本のように「同じです」「〇〇さんを助けます」と、友だちに対する反応はしません。

他にも、オーストラリアの小学校で生徒たちは制服を着ることになっています。そして生徒たちが学校を掃除するのではなく、掃除をするために勤めている人が、学校が終わった後にします。

最後に通学の仕方が大きく異なっていると思います。徒歩で行く子やバスで通学する子はもちろんいますが、両親から車で送って迎えに来てもらう子が多いです。

私が日本に来てからびっくりしたことは、日本の生徒が友だちに反応することです。英語圏でもすべししいと思います。